

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年8月29日(2023.8.29)

【公開番号】特開2022-70936(P2022-70936A)

【公開日】令和4年5月13日(2022.5.13)

【年通号数】公開公報(特許)2022-084

【出願番号】特願2022-18581(P2022-18581)

【国際特許分類】

C 08 J 5/18(2006.01)

10

B 32 B 15/08(2006.01)

C 08 J 7/00(2006.01)

H 05 K 1/03(2006.01)

【F I】

C 08 J 5/18 C F D

B 32 B 15/08 J

C 08 J 7/00 3 0 1

H 05 K 1/03 6 1 0 H

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年8月18日(2023.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学的に異方性の溶融相を形成し得るポリマー(以下、熱可塑性液晶ポリマーと称する)で構成された、熱可塑性液晶ポリマーフィルムであって、

30

10分～1時間の熱処理により、フィルム内に斜方晶構造の結晶を生成し得る、熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

【請求項2】

請求項1に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムにおいて、前記熱処理が、前記熱可塑性液晶ポリマーの融点T_{m0}以下で行われる熱処理を含む、熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

【請求項3】

請求項1または2に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムにおいて、1時間の熱処理により、フィルムの融点T_mが325以上に上昇する、熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムにおいて、融点上昇速度R_{tm}が0.20/m_{in}以上である、熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

40

【請求項5】

熱可塑性液晶ポリマーで構成されたポリマー層を備える積層体であって、前記ポリマー層が、請求項1から4のいずれか一項に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムから構成される、積層体。

【請求項6】

請求項5に記載の積層体において、さらに金属層を含む積層体。

50